



一般社団法人
ヘルスサポーターズイノベーション

身体症状と音声の分析を用いた ヘルスケアとキャリア支援を繋ぐ仕組みづくり

経済産業省 令和4年度
フェムテック等サポートサービス実証事業
実績報告



CHILWEL

いつでも専門家に聞ける安心を

目指したもの

働く人々のWELL-BEINGの実現



多職種連携による ライフとキャリアの両立支援

健康・子育て 分野の専門家

助産師
保育士
管理栄養士
理学療法士
公認心理師 等
(30人以上)



キャリア支援 の専門家

キャリアコンサルタント
社会保険労務士
中小企業診断士
(10人以上)



実施体制

代表団体
一般社団法人
ヘルスサポーターズイノベーション



業務委託

佐賀大学医学部
(母性看護学・助産学領域)

西九州大学
(理学療法学専攻)

株式会社ANDCO

CHILWEL改修業務

リスク計測テクノロ
ジーズ株式会社
音声計測システムMotiveI
連携機能の開発

ファザーリング
ジャパン九州

男性視点からのアドバイス

協力団体・個人

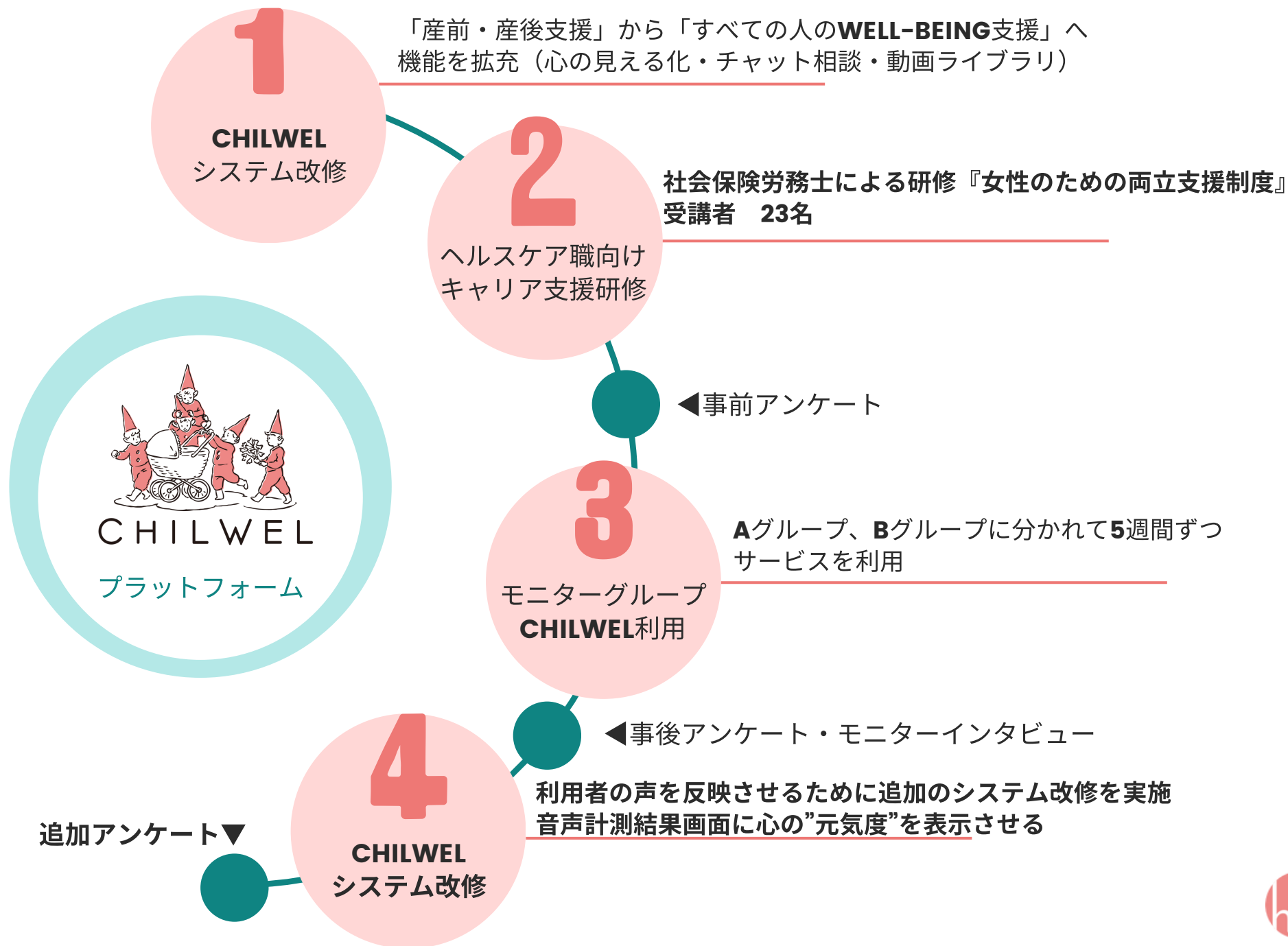
日本生命
佐賀支社

明治安田生命
佐賀支社

佐賀市役所

一般公募
モニター

実施したこと



1 プラットフォームCHILWEL システム改修

メニュー一覧

1

気付く

5秒でこころチャート
その日の心の状態が見える化

2

3

ライフステージごとに
必要な知識を得る

オンラインサロン【ランチタイム配信】
昼休みに気軽に耳だけ視聴

動画ライブラリ
人気サロン・動画を紹介

4

お役立ち情報
専門家コラム

5

セルフケア

オンラインサロン
双方向の参加型

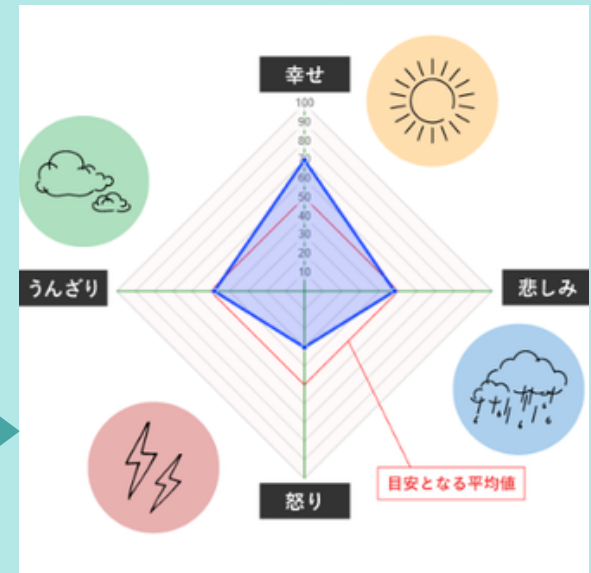
6

専門家と1on1

気軽に専門家チャット
チャットボタンから24時間受付

7

じっくりオンライン(zoom)相談
そのもやもや、そのままお話しください



2 ヘルスケア職向け キャリア支援研修

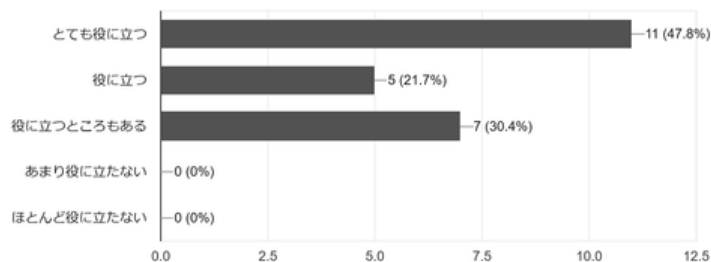
2022年8月20日開催

女性のための健康とキャリアの両立支援制度

講師:社会保険労務士 倉富玲子氏

受講者数：ヘルスケアの専門家（助産師、理学療法、管理栄養士等） **23名**
リアルタイム受講 **52.2%**、アーカイブ**47.8%**

講演の内容はあなたの女性の健康支援に役立ちそうですか？



役に立つと回答

100%

父親の育児参加を促すことが家族みんなの健康問題に直結する。今日の話は健康相談の際のより良いアドバイスにつながると感じた。

産前産後に利用できる経済支援や休暇制度について詳しく知ることが出来た。

少子化や労働人口の問題などを統計的に学べたことで視野が広がった。

3 モニターグループ CHILWEL利用

■参加状況（分析可能な対象者）

区分	団体名	申し込み	アンケート1回目 (基礎情報)	介入前後 アンケート回答者	アンケート 3回全回答者	音声分析可能+前 後アンケート回答	音声計測実施
A グループ	日本生命	100	73	27	13	22	34
	一般公募						
B グループ	明治安田生命	141	98	28	26	20	44
	佐賀市役所						
	一般公募						
合計	—	241	171	55	39	42	78

サービス利用状況

区分	モニター期間	オンラインサロン 開催回数 (参加者数)	動画視聴 回数	オンライン 相談 利用回数	チャット 相談 利用回数
A グループ	10/3-11/6 (5週間)	21回 (68名)	194回	10回	8回
B グループ	11/14-12/18 (5週間)	34回 (133名)	209回	1回	2回

※サロン参加者数、動画視聴回数には非モニターも含まれる

■ランチタイムに配信したオンラインサロンの一例

分析手法・モニター事業参加者の特徴

1回目アンケート（**ABグループ**合わせた全体**N=171** 平均年齢 **43.8**）（回答率**71%**）の結果からの考察

ヘルスリテラシーの中央値**38点**（**80**点満点中）

（先行研究と比較すると低い：**20～30歳**の平均、中央値は**52～53**（**84**点満点中））



この働く女性グループのヘルスリテラシーは低いと言える



アンケート回答率、サービス利用率が低い一因としてヘルスリテラシーの低さも関係しているのでは
（自ら行動し、健康に関するサービスを利用するまで意識が高くない）

AとBのグループ
のクロスオ
ーバー比較は
実施しない



Aグループのみ
を詳しく分析
する

理由

- ・ **AとB**の背景が異なる（平均年齢、子の数、同居率等）
- ・ **3回**のアンケート回答+**CHILWEL**利用の全てを満たす人が少ない
- ・ モニター期間中に提供したサービスの内容が異なる

理由

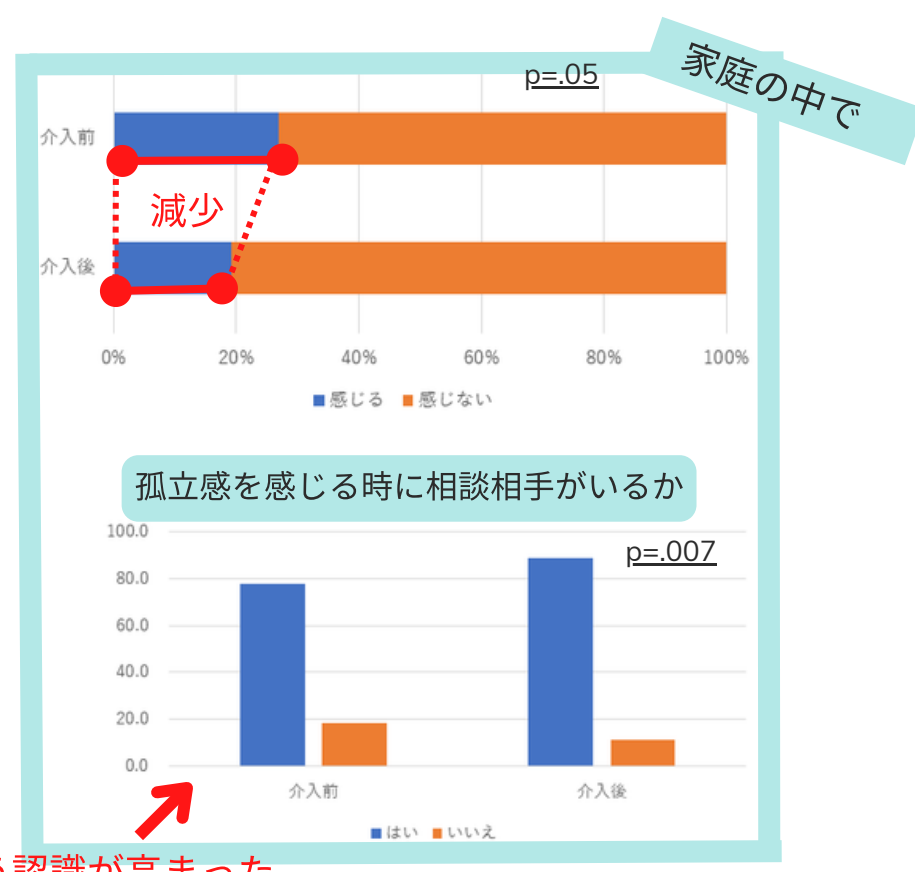
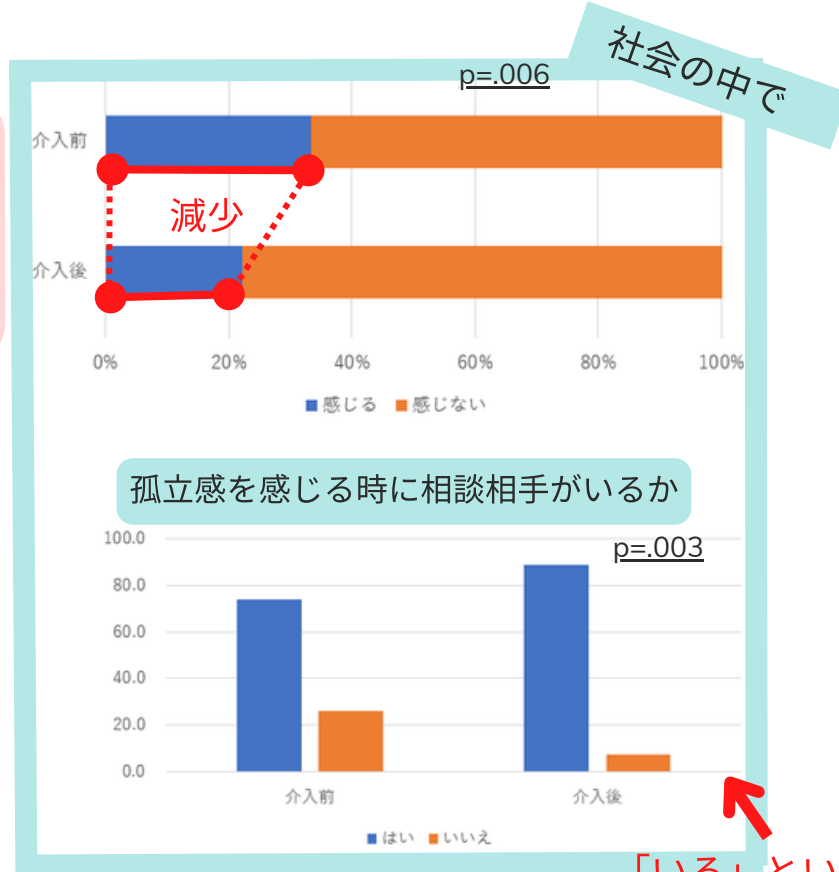
- ・ **Bグループ**より年齢層が若くサービスを利用した人が多い

171名の年齢層別にみたヘルスリテラシー点数

年齢	人数	中央値	平均値
20代	18	40.5	41.7
30代	42	41	41.1
40代	55	43	41.2
50代	43	32	33.4
60代	13	30	29.0

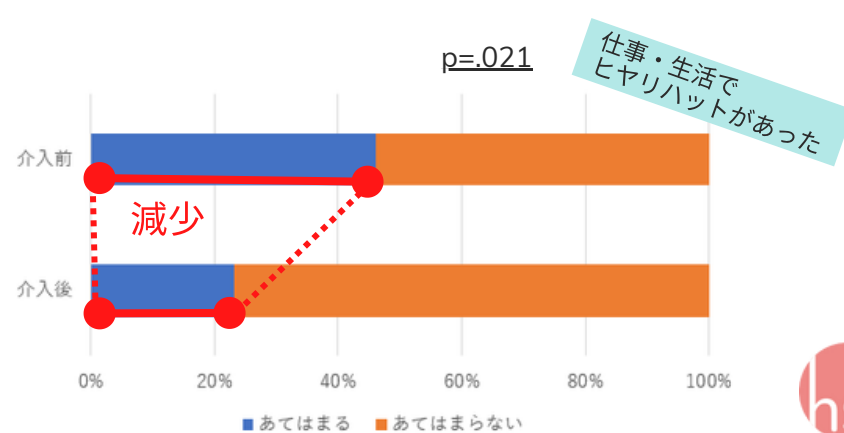
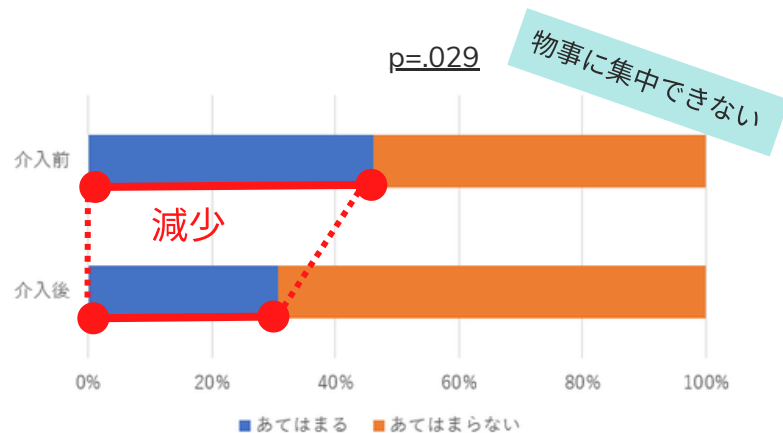
Aグループ データ ① (n=27)

孤立感



「いる」という認識が高まった

心理状態

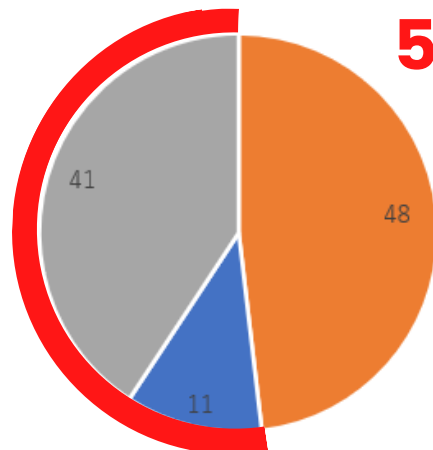


Aグループ データ ② (n=27)

音声計測が利用の後押しになるか

		Aグループ (n=27)
利用状況	飽きずに利用できた	5
	途中で飽きたが継続して利用できた	8
	途中で飽きたので利用を中止した	9
	利用していない	3
音声システムと CHILWELについて 利用の後押し	強く思う	3
	少し思う	11
	あまり思わない	13
	全く思わない	0

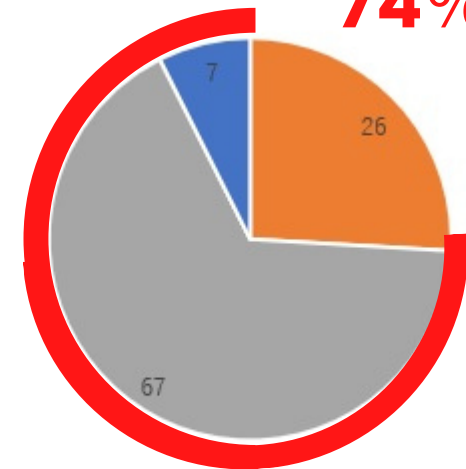
強く思う・少し思う
52%



■ あまり思わない ■ 少し思う ■ 強く思う

CHILWELの利用を継続したいか

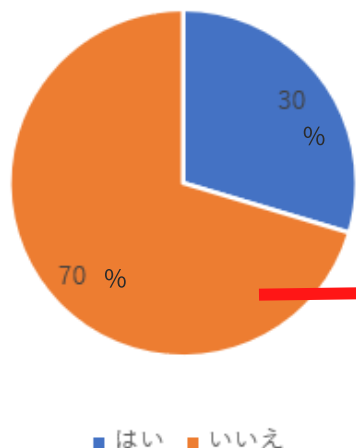
強く思う・少し思う
74%



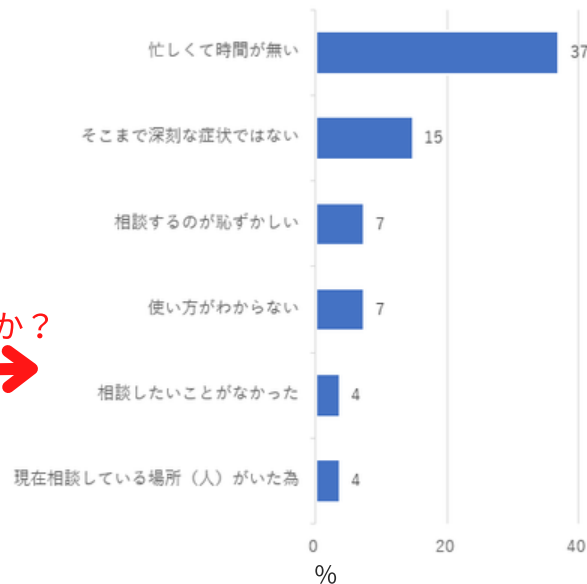
■ あまり思わない ■ 少し思う ■ 強く思う

Aグループ データ ③ (n=27)

専門家にチャットで相談するサービスを利用したか



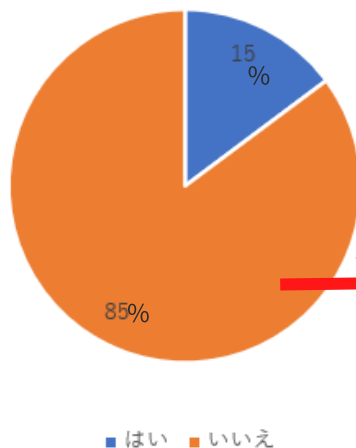
なぜ
利用しなかったのか？



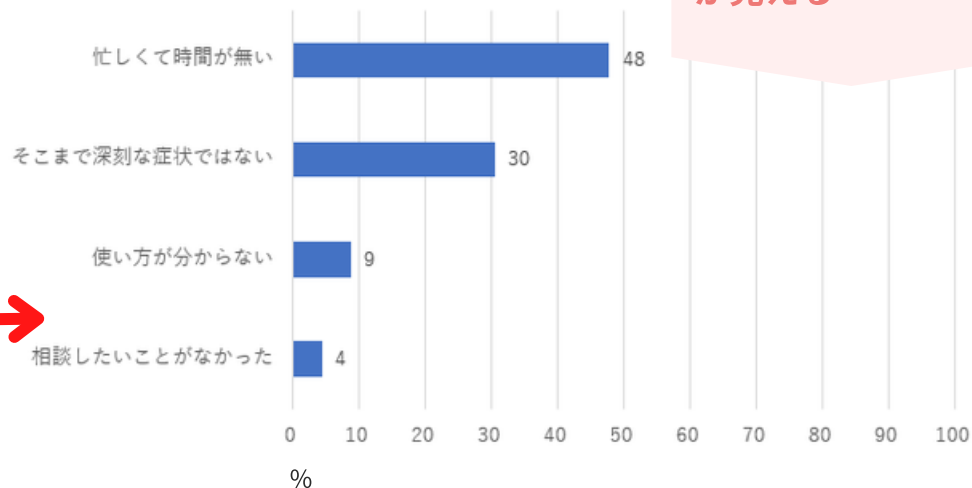
症状が深刻になる前の早期対応が必要であるが、現実は...

ITリテラシーや、恥ずかしさなど適切なサービスの利用には様々な壁があることが見える

専門家にオンラインで相談するサービスを利用したか

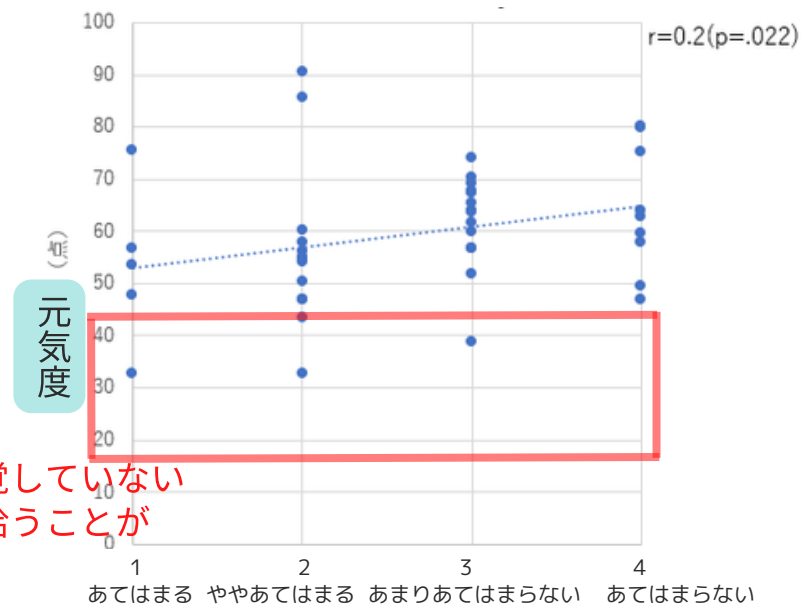
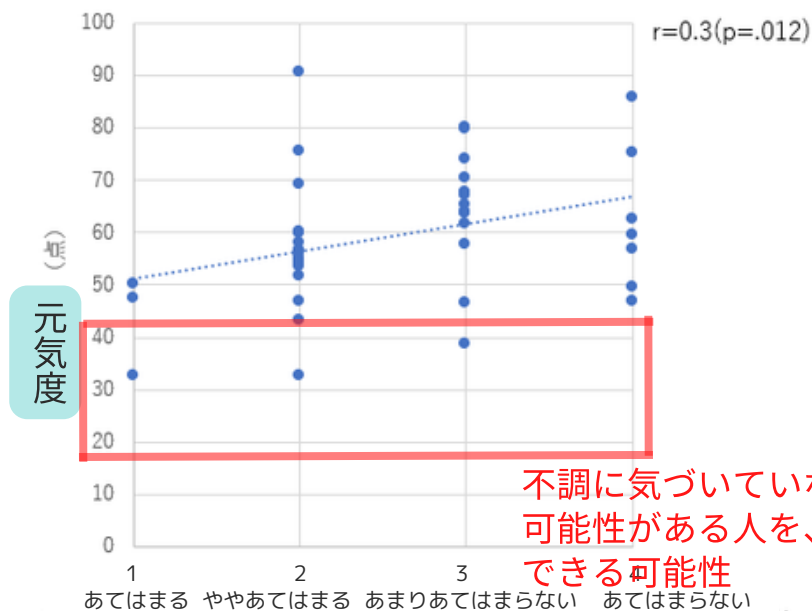


なぜ
利用しなかったのか？



A・Bグループ統一

音声データと事前アンケートから見える メンタル（元気度）と身体不調・疲労状況との関係



弱い正の相関



体の調子が悪いと
感じている人は
元気度が低い

弱い正の相関



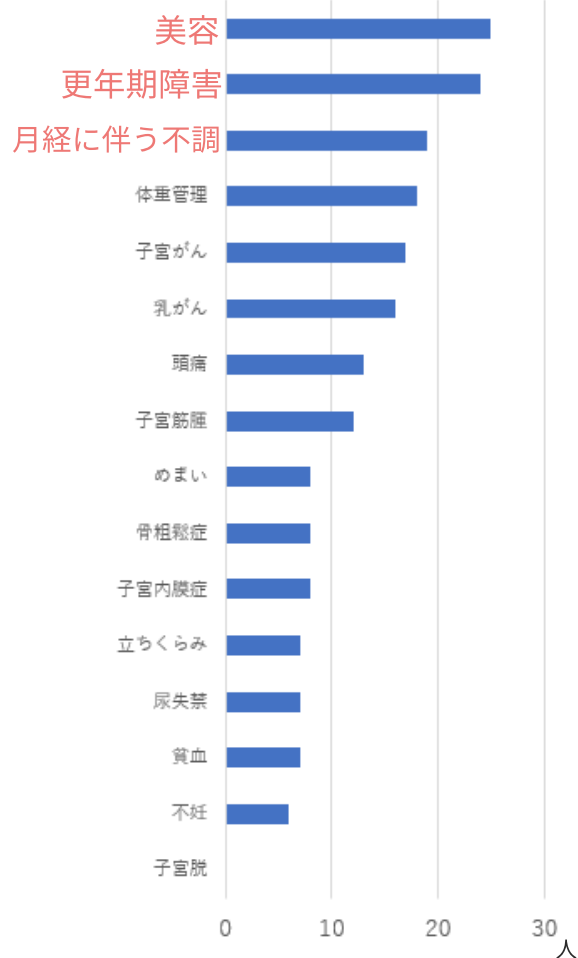
へとへとだと
感じている人は
元気度が低い

その他の項目については 相関なし

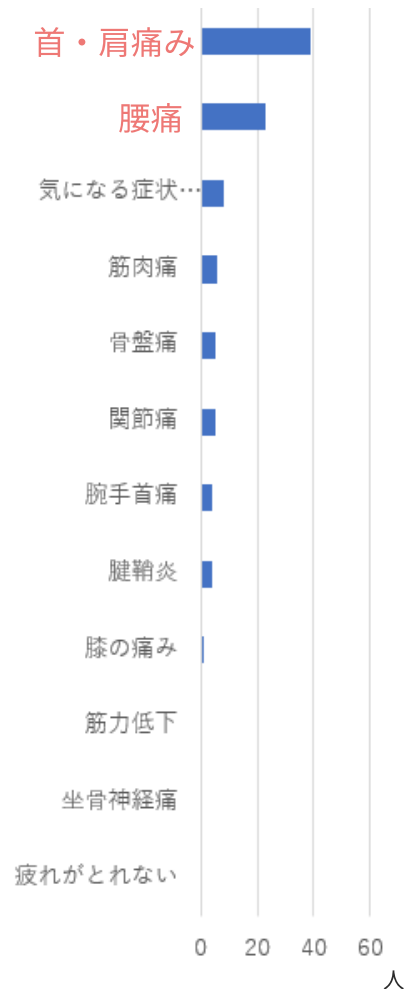
関心があるテーマ（モニター開始前時点）

A・Bグループ統一（n=55）

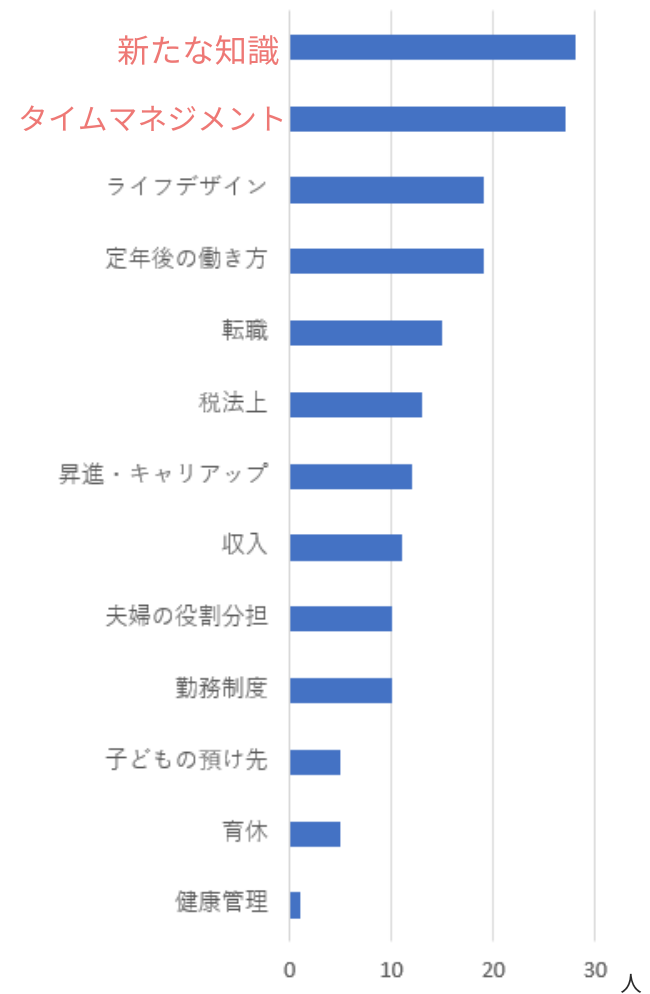
女性の健康



身体の痛み



仕事



モニターインタビュー

実施方法

アンケートを補う目的で3名のモニターにオンラインまたは対面で実施。利用した感想や改善した方がいいと感じた点、今後期待するオンラインサービスなどについて聞いた。

1

CHILWELについて

- チャット相談のユーザー導線はもっと工夫が必要。とても丁寧な回答が返ってきて驚いた。
- サロン、アーカイブ、チャット相談等の各メニューをつなげた活用イメージをもっと伝えてほしい。サロンの講師にチャットで相談できるなどが分かりにくかった。
- 健康チェックの結果にもとづくオススメサービスの提案などをしてもらいたい。
- こころチャートの結果に変化が感じられず、途中で飽きた。職場ではやりづらい。

2

期待するオンラインサービス

- なかなかテレビを観る時間がないので、テレビのような分かりやすい形で旬の健康情報が得られると嬉しい
- 男性の更年期は家族からは伝えにくく、本人も気付きにくいので積極的に発信してほしい。



男性グループからのアドバイス

reason1

当事者（働く女性）だけでなく、男性を含む周囲（管理職・同僚）の意識や知識も高めたい

reason2

男性の育休取得や育児と仕事の両立をサポートすることが、女性の健康支援と仕事との両立支援につながる



九州を拠点に『笑っている父親』を増やす活動に取り組むファザーリングジャパン九州にモニター利用と意見収集を依頼

意見（一部）

- ベテランの専門家が多く登録されて信頼できそうなサイトの印象。一方で、誰に何を提供しているのかわかりづらい。サイト **TOP** のデザインも素敵だが、少しふわっとしていて男性に響くかどうか。「〇〇のための〇〇プラットフォーム」みたいに定義はどうか。
- 「お役立ち情報」「動画ライブラリ」の違いが分かりにくい
- 「仕組みは面白いが、いつやってもあまり分析が変わらない。結果にストレスの項目があれば、男性には響きそう。
- 人に相談するという行為が苦手な方が多い。もう少し、相談内容の項目を具体的に表示するなどの工夫が必要だと感じた。専門分野でのカテゴリだけでなく、「ただ話を聞く」「母乳について」「復職について」など具体的に。また、パパを狙うのであれば、妻の体調に関してやサポート方法、男性育休相談なども良いかも。
- 個人利用の料金（¥1,320/月）は相談を利用しない人には少し高い印象。



4

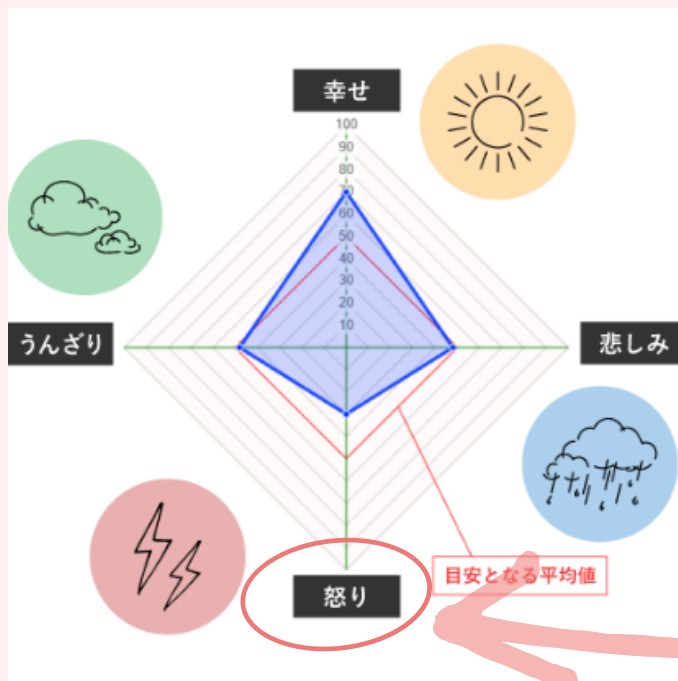
CHILWEL システム追加改修

アンケート等で寄せられた意見を反映させるため、声で心を見える化する”ころろチャート”の追加改修を行う。改修後は再度モニターに利用してもらいアンケートを実施予定。

音声計測は、本人も周囲も気がつきにくくメンタル不調を早期に見つける大切なメニューであり、使いやすさや結果の分かりやすさは今後も工夫を重ねていく予定。

初期改修

「幸せ」「うんざり」「怒り」「悲しみ」
をチャートで表示



追加改修

心の「元気度」を一番上に表示。1つの指標で日々の変化を知ることができる。



その時の結果は
数値でチェック



日々の変化は
グラフでチェック

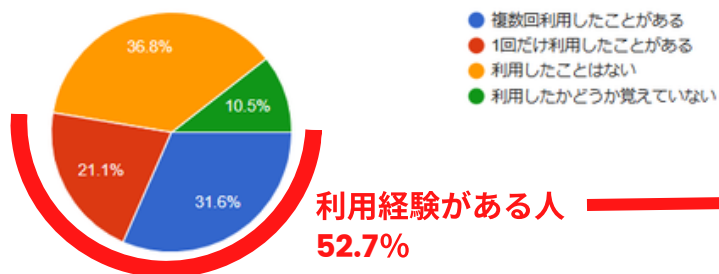
「怒り」の数値が高い時は、ストレスも高い状態であることをより強調する

追加改修後アンケート

モニターとして**CHILWEL**に登録しているユーザーに対しアンケートを実施した。

回答者：19名

リニューアル前の【5秒でこころチャート】を利用したことはありましたか？

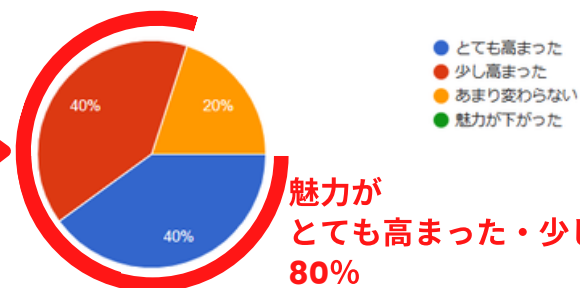


利用経験がある人
52.7%

リニューアル前の【5秒でこころチャート】を利用したことがある方にお尋ねします。

新たに【元気度】をチェックできるようになりました。以前と比べて「サービスの魅力」をどう感じますか？

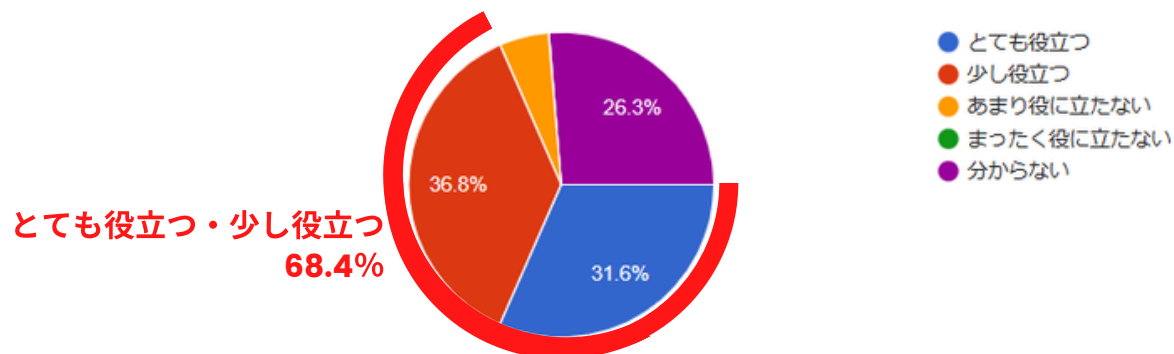
10件の回答



魅力が
とても高まった・少し高まった
80%

リニューアルした【5秒でこころチャート】についてお答えください。

このサービスは、あなたの暮らしに役立つと感じますか？



とても役立つ・少し役立つ
68.4%

サービス提供の課題

分かりやすい
ユーザー導線

CHILWELならではの
強みをみがく

- ❑ その人が今必要としている情報をピンポイントで届ける
ことが出来る仕組み
- ❑ 身体の症状と心の症状をつなげる仕組み
(アンケート実施⇒サービス提示 等)
- ❑ 立ち位置を定め、取り組みを明確化する
”ヘルス”と”ライフデザイン”の**リテラシー**の底上げ
→仕事のパフォーマンスもUP

今後の事業展開

企業・自治体
医療機関への
アプローチ

プラットフォーム
の転用

- ❑ 本事業で収集したデータや利用者の声を活用し、サービス導入のための企業等への積極的なアプローチを行う
- ❑ 本事業で開発したプラットフォーム、そして健康とキャリアの多職種専門家チームを、異なるテーマや対象のためのプラットフォームへと転用することで、開発費を押さえて新サービスをスピーディに展開できる

お問い合わせ先



一般社団法人
ヘルスサポーターズイノベーション

Mail contact@healthsupporters-i.com

Tel 0952-60-2152 (寺野)



CHILWEL

いつでも専門家に聞ける安心を